

行政視察等報告書（個人用）

令和 元年 5 月 21 日

知立市議会議長 様

報 告 者	那須幸子
日 時	令和 元年 5 月 17 日
視察（研修）場所	豊田市本地こども園
研修内容	重症心身障がい児保育事業について

☆豊田市の概要

- ・ 市政施行 1959 年 1 月 1 日
- ・ 面積 918.32 平方キロメートル
- ・ 人口 426,277 人（男性 222,997 人、女性 203,280 人）
- ・ 世帯数 182,585 世帯
(2019 年 5 月 1 日現在)

☆事業開始の経緯

入園相談会、進路検討会の結果

- ・ 地域園への通園が可能な児童で
親子通園が可能な家庭は発達センターやこども園へ
親子通園が不可能な家庭はこども園へ
- ・ 療育が必要な児童で
親子通園が可能な家庭は発達センターへ（親子通園が条件）
親子通園が不可能な家庭の対応ができていない

◎平成 31 年 4 月に向けて検討をはじめ。

☆事業内容

(1) 実施事業

重症心身障がい児保育事業

- ・専用保育室 実施園の空き部屋を使用
- ・保育時間 午前7時30分から午後7時
- ・配置職員 2名 発達センター職員1名、
保育師1名（豊田市はこの字を使う）
- ・対象 重度の知的障がい及び重度の肢体不自由が重複している
児童であって、保護者の就労等で必要な療育がうけられ
ない3才児以上児
- ・予定定員 3名（現在2名）

◎平成31年4月現在 1園実施（豊田市本地こども園）

(2) 発達センター職員の業務

- ・実施園での対象児に対する療育的視点での保育の実施
- ・実施園の保育師に対する療育的視点での保育の支援
- ・実施園以外の保育師に対する障がい児保育への支援
- ・障がい児保育に関する業務支援
- ・将来の体制の構築

☆今後の課題

◎事業拡大に向けた実施方法の検討

☆所感

とても良い事業だと思いました。

障がいをもつ児童がみんなと一緒に遊べる事は、大きな刺激を受ける事だと感じ、成長するにあたってとても必要な事だと思います。

又、豊田市のこども発達センターは、現在 120 人の児童が利用され、職員 140 人で医療、相談、保育などにに関わり、とても充実している施設だと感じました。

知立市においても近く立ち上がりますが、働く親にとってはとてもありがたい施設になると思います。

ご家族と共にお子さまの健やかな成長を願い、充実した施設にしていけるよう私自身学んでいきたいと思っています。



※報告書は視察（研修）場所ごとに作成してください。

報告書は視察（研修）終了後 1 週間以内に提出してください。